

## 第10回AOSD国際会議を中国で開催しました

3年に1度開催するAOSD(Asia-Oceanic Steel Drum Manufactures;アジア・オセアニア鋼製ドラム製造業者協会)の国際会議が、本年10月14日～17日にかけて中国の蘇州のKempinski Hotelで行われました。

ドラム缶工業会に設置されているAOSD事務局が主催し、中国CPF(China Packaging Federation:中国包装連合会)がプログラムを作成し、運営に当たりました。

初日は日本、中国、韓国、タイ、インドの5カ国による役員会、2日目と3日目はアジア並びに世界各国のドラム缶メーカー、部品メーカー、機械設備メーカーによる統計並びに技術発表、最終日は工場見学会でドラム缶メーカー2社、機械設備メーカー1社を訪問しました。

今回のテーマは「鋼製ドラム缶の社会的使命と環境保護」と題し、特に2日間で19件の技術発表が行われ、環境保護に関する関心の高さが窺われました。

国際会議の参加者は300人を超え、アジア一円だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ、またトルコや遠くブラジルからの参加もありました。また展示ブースではアジア域内から機械設備、部品、シーリング材、内装缶等の16件の技術の展示・説明会が行われました。

次回は3年後の2022年に韓国で開催する予定です。

(詳細情報が必要な方はドラム缶工業会事務局までお問い合わせ下さい。)



出席者全員による集合写真



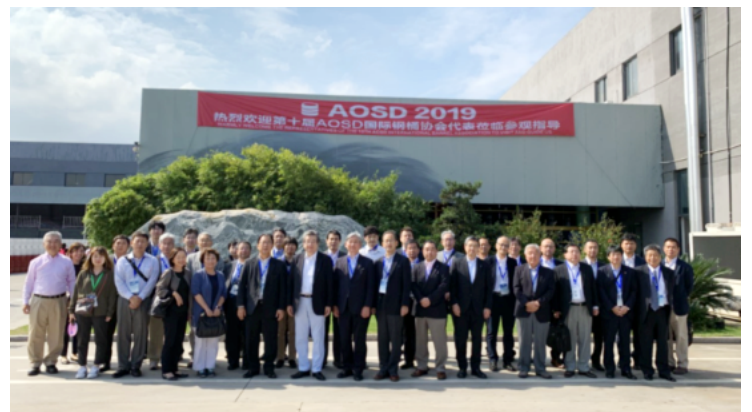
AOSD藤井会長によるスピーチ



国際会議の様子



工場見学会



工場見学会は大型バス7台に分乗して行われました



会場となった蘇州Kempinskiホテル